

景気動向調査

建設業、仕入材料価格増加への不安強まる

令和5年4～6月 中小企業景況調査 結果報告書

当所では、藤枝市内小規模事業所の経営動向を把握するため、四半期ごとに景況調査を実施しています。

令和5年4～6月期の調査がまとまりましたので、概要を報告します。

※本調査は、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業の5種200社を対象に行っています。今回の回収率62.0%

【主要な表現について】

○業況判断：調査対象企業が自らの業績に下した判断。

○DI値：(増加・好転と回答した割合) - (減少・悪化と回答した割合) 悪化すればするほどDI値は▲(マイナス)になります。

管内全産業の業況

業況判断の動向(表1)：全産業での業況は、DI値▲10.6で前回(2023年1月～3月)より0.2ポイント減少しました。建設業前回7.7ポイントから▲22.7ポイントに減少しました。また製造業前回▲26.1ポイントから4.3ポイントに増加しました。

全産業売上高の推移：前回▲1.6ポイント(2023年1月～3月)から2.4ポイント増加しました。
製造業21.7ポイント、サービス業15.4ポイントで改善傾向を示しました。

全産業資金繰りの動向：前回▲9.7ポイント(2023年1月～3月)から8.9ポイント増加しました。
製造業8.7ポイントで改善傾向を示しました。

全産業採算の動向：前回▲21.6ポイント(2023年1月～3月)から0.3ポイント増加しました。
全産業足踏み状態を示しました。

全産業雇用人員の動向：前回▲4.2ポイント(2023年1月～3月)から7.6ポイント増加しました。
製造業で人手不足感が減少しました。

表1 業種別業況判断の動向

